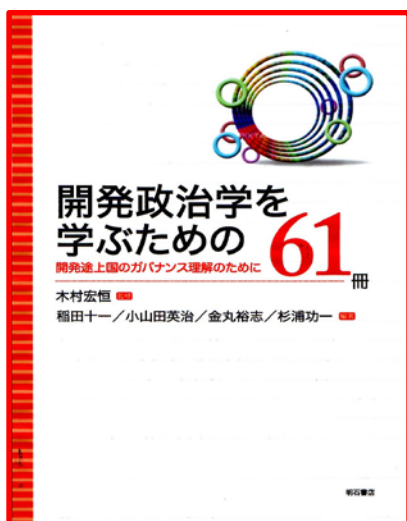


国際開発学会東海支部・名古屋大学国際開発研究科共催講演会

「途上国の開発は国づくり。 問題は政治だ」



『開発政治学を学ぶための61冊—開発途上国のガバナンス理解のために—』(明石書店)の出版を記念して、監修者の木村宏恒名古屋大学名誉教授をお招きし、講演会を開催します。

木村氏は20年間、国際開発研究科で開発における政府の役割やガバナンスについて教えておられました。「問題は政治だ」はいま、世界の開発業界の共通認識になりつつあります。会場では、図書販売(定価の2割引き)も行われます。

会場:名古屋大学国際開発研究科 8階多目的オーデトリウム

日時:2018年5月10日

18:30~20:10 (図書販売 18:00~18:30)

イギリス開発学会会長デイビッド・ヒューム『貧しい人を助ける理由』(佐藤寛監訳, 2017)には、「問題は政治なんだよ. わからず屋さん」という小見出しがあります。世界銀行『世界開発報告 2017 ガバナンスと法』は「問題は政治だ」という命題を全面展開しました。すでに1990年代から「問題はガバナンスだ」は国際開発業界の共通認識となり、『世界開発報告 1997 開発における国家の役割』は、「有効に機能する国家(effective state)なくして持続可能な経済・社会開発は不可能である」と断じ、2005年のアフリカ委員会報告は、「過去40年のアフリカのあらゆる困難には、ガバナンスの弱さと有効に機能する国家の欠如がある」と書きましたが、講演では、ガバナンス政策30年の蓄積のうえに、ガバナンスが進展しないのは政治に問題があるからだという認識にいたる過程と今後の展望を話します。



連絡先:国際開発学会東海支部 西川由紀子・藤川清史

メールアドレス jasidtokai@yahoo.co.jp

